

人々に電・力

-英国の地域社会における小規模再生可能エネルギープロジェクト-

Katarin Mária Kuntner

キーワード：コミュニティエネルギー、再生可能エネルギー、小規模、コミュニティ関与、エネルギー移行

1. 研究の背景と研究目的

エネルギーインフラの老朽化、化石燃料の枯渇、切迫する気候変動などにより、これまでとは異なる持続可能なエネルギーシステムの必要性が浮上している。しかし、分散型で柔軟性がありほぼ再生可能であるエネルギーシステムへの移行は、複数の関係者や解決策を結びつけ、そして消費者の役割を再定義しなければならないという困難な課題として立ちはだかる。コミュニティエネルギープロジェクトは、エネルギーを生成および管理するためのボトムアップ型の取り組みであり、より持続可能で回復力のあるエネルギーシステムへの移行の一つのアプローチと見なすことができる。さらにいえばこういった取り組みは、持続可能なエネルギーシステムの重要な側面であるエネルギー生成をユーザーに近づけることができ、ユーザーのエネルギー消費に対するより意識的な態度が生まれることに貢献するであろう。本研究では、コミュニティエネルギープロジェクトの実施において役割を果たす非技術的要因、およびこれらの要因がプロジェクトの結果にどのように寄与するかを調査した。本研究の目的は、このようなプロジェクトの実行計画に際し提案しうる、プロジェクトの成功にかかる必要条件を示すことである。

2. 研究方法

全体として 8 事例において、現場の視察およびプロジェクト管理チームの主要メンバーとの半構造化インタビューを行った。英国では、6 事例の調査を行い現況を記録した。このデータを背景に、コミュニティエネルギープロジェクトが他の国でどのように実施されるかを明らかにするため、日本においてさらに 2 事例の追加調査を行った。インタビューの目的は、この分野についての洞察を深め、プロジェクトの成果にどのような要因が関与しているかについての情報を得ることであった。さらに、出資者の動機や態度を理解する目的でオンライン調査も実施した。

3. 研究結果と結論

調査の結果、コミュニティエネルギープロジェクトにおいては、政策支援への依存度が高いことがわかった。コミュニティでさまざまな経費を完全にカバーすることはできないため、彼らは政府の政策の変化に左右される外部の財源に依存している。プロジェクトマネージャーのスキルや彼らが継続して取り組めるかどうかも同様に重要である。プロジェクトの成功は、彼らがこの先の歩みの中で起こるであろう様々な障害をどれだけうまく解決できるかどうかにかかっている。コミュニティの支援と参加は当初の予想よりも消極的なものであった。コミュニティのメンバー内に専門家がいない場合、主に彼らの役割はプロジェクトを財政的に支援することである。しかし、もし専門家がオープンマインドを保ち開発コミュニティのメンバーの支援をしなければ、彼らは専門家であるにも関わらずプロジェクトを妨げるというネガティブな影響をもたらさう。結論として、コミュニティエネルギープロジェクトは多様であり、すべてに通じる理想的な設計図というものはないといえる。機会を見つけてそれを有利に活用していくには、非常に革新的なマインドをもつ動きが必要である。